いっぱいっぽ

かんがえ　かんがえ

学校図書館巡回ニュース

53 号

2021 年 9 月発行

蘭越町花一会　tell・fax　57-6085
学校図書館巡回派遣事業担当
若林由美子（司書・司書教諭有資格）
金子千明　（司書有資格）

夏休みあけてすぐに蘭越小学校では国語の授業として「みんなの本だな」が行われました。この事業は 2000 年から子ども達の読書推進のために行われている事業です。子ども達の一番身近な学級に、子ども達が読みたい本を置きたいと当時の保護者や町の司書によって発案されました。ここで行われる「ブックトーク」は当時実践事例も少ない中、子ども達に本の魅力を伝えたいと、練習会を重ね技術を高めてきたものです。ブックトークは読書を魅力あるものとして手渡していくとても有効な手段です。担当者にご相談いただければ授業でも行えます。ご利用ください。

8/24～26　蘭越小学校国語　みんなの本だな

エプロンシアターは
フルーツパフェ→

ブックトーク

「みんなの本だな」アンケートより

エプロンシアターはどうでしたか？

子ども達が喜んだ題材（パフェ）で楽しかったです。（こぶし 1 年）

盛り上がってる（2 年）

子ども達がとても興味を持っていて良かったです。（3 年）

ユニークなアイディアが子どもひきつけていましたので有効な方法と思いました（4 年）

果物のいろいろな漢字とても勉強になりました！（5 年）

難読漢字も自分の身近なものであると読みたくなる。そこをくすぐるエプロンシアターだったと思います。（6 年）

ブックトークはどうでしたか？

後ろの子が多少見えづらいのが解決されるとさらに素晴らしいと思います。（こぶし 1 年）

良かったです（3 年）

毎回引き込まれる工夫がすごい。大人も面白い（2 年）

子ども達も参加できる内容でステキでした。（4 年）

らんこしの野鳥ファイルの反応が良かったですね（こぶし 5 年）

戦争について知ることはとても大切です。目を背けてはいけない出来事に、本を通して向き合うことができてありがたかったです。子ども達も真剣に聞いていました。（6 年）

こんなテーマで紹介されました

学年	ブックトークテーマ	学年	ブックトークテーマ
1	よるはひみつがいっぱい	4	○○が小さかったとき
2	むかしばなし	5	ふわふわ
3	牛がいた	6	知ることからはじめよう

小中学校図書館蔵書点検

蘭越小学校　　1 冊 1 冊もれのないようにバーコードリーダーに読み込んでいきます

蘭越中学校

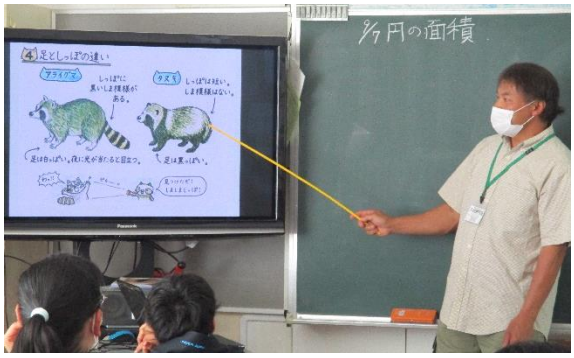
パソコンにバーコードリーダーのデーターをうつします

昆布小学校

全部の棚を読み込んだところで不明図書リストを出しさらに棚の奥に追いやられていたり挟まっていたりの本をあちこち探しまわり、最終的な不明図書リストを出しますが、学校は図書室以外の所に持ち出されている可能性があるので、不明図書を探してもらうためのポスターを作成して捜索しさらに不明図書を少なくしていきます。

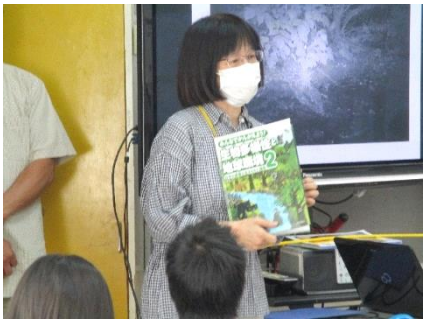
9 月いっぱいをもって最終的な不明図書の冊数を出したいと思います。

9/7　蘭越小学校　6 年理科「生きものと環境」 蘭越の外来生物について豊富な資料でお話しいただきました



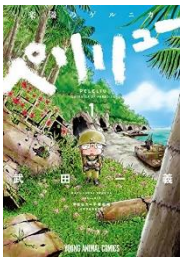
熱心にメモを取る

司書は関連本を紹介しクラス文庫となりました



蘭越のアライグマの捕獲は毎年増え続けています。捕獲とは人が生き物を殺すこと。私たち一人一人ができることは何なのか、未来のためにどうすればよいのか、一人一人が考えたように思います

戦争を知る・平和を考える



7～9 月にかけて、小中学校の国語単元に合わせて、またみんなの本だなでもブックトークで様々な戦争文学や資料が入りました。読書は自分と向き合ってゆっくり考える時間を生み出します。戦争が当たり前の日常をあっという間に奪ってしまうものであることの恐ろしさを感じてもらえたらと思います。

様々な場面で図書館を活用ください。
ご相談ご遠慮なくどうぞ